

具体的な戦略	施策の方向性・アウトプット	中間アウトカム	分野アウトカム	
Ⅰ がんの予防と早期発見の推進				
01 たばこ対策の強化	喫煙対策	喫煙によるがんの発症を予防 生活習慣によるがんの発症を予防 感染症によるがんの発症を予防 がんを早期に発見	がんの罹患率減少 がんの死亡率の減少 がん生存率の向上 対県標準化死亡比の地域差の減少 全てのがん患者及びその家族の苦痛の軽減並びに療養生活の質の維持向上	
02 生活習慣の改善	受動喫煙環境対策 食生活改善の推進 その他の生活習慣の改善			
03 がんの原因となる感染症対策の推進	B型及びC型肝炎ウイルス対策			
	ヒトパピローマウイルス（HPV）対策			
	ヒトT細胞白血病ウイルス1型（HTLV-1）対策			
04 がん検診の受診率向上と精度管理の推進	ヘリコバクター・ピロリ対策 がん検診受診率の向上 がん検診の精度管理の推進			
Ⅱ 患者一人ひとりに合わせたがん医療の実現				
05 がん診療連携拠点病院等の整備	連携の強化 質の向上	がん診療の質の向上・均てん化 診断・医療の進歩 情報提供の充実 医療過誤の減少 患者のQOL向上 希少がん患者の高度かつ専門的な医療へのアクセシビリティの向上 AYA世代のがん診療の質の向上・均てん化 家族への支援・サービス・場所の充実 がん登録の活用		
06 手術療法、放射線療法、薬物療法及び免疫療法の推進	手術療法の推進 放射線療法の推進 薬物療法の推進 免疫療法の推進			
	がんゲノム医療体制の構築			
	がん医療の安全管理			
07 がんゲノム医療体制の構築とプロジェクトHOPEの推進	多職種チーム医療の推進			
08 医療安全対策の推進	リハビリテーション・形成外科・補填医療の普及			
09 多職種チーム医療の推進	支持療法の推進 アピアランスケアの普及			
	希少がん対策			
10 がんに関するリハビリテーション・形成外科・補填医療の普及	難治性がん対策			
11 がん治療に伴う支持療法の推進	小児がん対策			
12 希少がん、難治性がん治療のための連携の推進	AYA世代のがん対策			
13 小児がん、AYA世代のがん医療の整備	高齢者のがん対策			
14 高齢者のがん医療の推進	病理診断提供体制の推進			
15 病理診断の均てん化	がん登録の精度管理			
16 がん登録の活用	臨床試験の環境整備			
17 臨床試験(治験)の充実				
Ⅲ がん患者とその家族の安心できる暮らしの支援				
18 緩和ケアの充実	緩和ケアの提供体制 在宅緩和ケアの推進 緩和ケア研修の推進	がん患者が、相談を利用し、役だっと思えること がん患者の家族が、悩みや負担を相談できること 望んだ場所で過ごせたがん患者の割合の増加 がん患者が、治療に関する十分な情報を得ることができること 経済・就労関連PROの向上 がん患者・経験者の両立支援・就労支援に関する相談・支援体制へのアクセスの向上 がん対策の重要性を認識し、がん医療について正しい理解を得、医療の向上に向け自らも協力する県民（がん患者含む）の割合増加		
	19 相談支援の充実			相談支援の強化
	20 医療連携の充実			切れ目のないがん医療 介護との連携
21 県民に対するきめ細かな情報提供	正しいがん情報 県民への情報提供			
	在宅医療の充実			
	医療機関における就労支援			
22 在宅医療の充実	職域や地域における就労支援			
23 就労のための支援	患者団体との協働			
24 患者団体等との連携・協働及び支援	ピア・サポートの普及			
Ⅳ 将来につながるがん対策の基盤づくり				
25 ファルマバレープロジェクトを中心とする研究・開発の推進	研究・開発の推進	研究・開発の活用 がん医療の充実・発展に寄与 専門的人材の増加 がんを正しく理解し向き合う デジタルにより、がん患者・家族を含む国民が、適切な情報・医療資源・支援にアクセスしやすくなること（国で検討中）		
26 静岡がん会議	がん会議の開催			
27 人材の育成	研修の充実 専門人材の育成			
28 がん教育の推進	がん教育の推進			
29 デジタル化の推進	質の向上 情報提供			

・AYA（Adolescent & Young Adult）世代は、主に15～39歳の世代を指す。
・PRO（Patient-Reported Outcomes）患者報告アウトカム。ここでは、患者体験調査等の結果を指す。

施策の方向性・アウトプット					中間アウトカム		分野アウトカム	
1 たばこ対策の強化					喫煙によるがんの発症を予防 肺がんの年齢調整罹患率(人口10万人対)		がんの罹患率減少 がんの年齢調整罹患率 検診 5 がん年齢調整罹患率 がんの死亡率の減少 県内の年間がん死亡者数 がんの年齢調整死亡率（75歳未満、全年齢） 検診 5 がん年齢調整死亡率（75歳未満、全年齢）	
喫煙対策		現状値	出典	時点				
	20歳以上の者の喫煙率	16.40%	国民生活基礎調査	2022年				
	喫煙により補導される中高生の人数	826人	丘のこどもたち	2022年度				
受動喫煙環境対策		現状値	出典	時点				
	望まない受動喫煙（家庭・職場・飲食店）の機会を有する者の割合	家庭 6.6% 職場 21.1% 飲食店 22.4%	健康に関する県民意識調査	2022年				
2 生活習慣の改善					生活習慣によるがんの発症を予防 胃がん・大腸がん・乳がんの年齢調整罹患率(人口10万人対)			
食生活改善の推進		現状値	出典	時点				
	野菜摂取量の平均値（g/日）	285.1 g	県民健康基礎調査	2022年				
	果物摂取量の平均値（g/日）	確認中	県民健康基礎調査	2022年				
	食塩摂取量の平均値（g/日）	10.0 g	県民健康基礎調査	2022年				
	生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している県民の割合	10.3%	県民健康基礎調査	2022年				
その他の生活習慣の改善		現状値	出典	時点				
	運動習慣のある県民の割合	10.3%	県民健康基礎調査	2020年				
	肥満者の割合（40～60歳代）	男性 35.7% 女性 20.6%	健康に関する県民意識調査	2020年				
	拠点病院等及び県推進病院で実施した、地域を対象とした、がんに関するセミナー等の開催回数	82回	現況報告書	2022年				
3 がんの原因となる感染症対策の推進					感染症によるがんの発症を予防 肝がん・子宮頸がん・ATLの年齢調整罹患率(人口10万人対)			
B型及びC型肝炎ウイルス対策		現状値	出典	時点				
	肝炎ウイルス検査の受検者数							
	肝疾患専門医療機関数							
	肝炎医療コーディネーターの養成者数							
	B型肝炎定期予防接種実施率							
ヒトパピローマウイルス（HPV）対策		現状値	出典	時点	がんを早期に発見 検診 5 がん検診受診率 検診 5 がん精密検査受診率 検診 5 がん早期がん割合 検診 5 がん進行がん罹患率			
	HPVワクチン定期接種の接種率							
4 がん検診の受診率向上と精度管理の推進								
がん検診受診率の向上		現状値	出典	時点				
	受診勧奨実施市町村数							
	普及啓発キャンペーンの実施状況							
	正しいがん検診の周知のため、住民に対し、がん検診の正しい情報提供を実施した市町数							
	人間ドックを実施する医療機関数							
	市町が行うがん検診の実施機関数（乳）							
	市町が行うがん検診の実施機関数（胃内視鏡）							
	内視鏡専門医数							
がん検診の精度管理の推進		現状値	出典	時点				
	指針を遵守したがん検診の実施市町数							
	指針に基づかないがん検診の中止市町数							

施策の方向性・アウトプット

中間アウトカム

分野アウトカム

5 がん診療連携拠点病院等の整備

連携の強化		がん診療の質の向上・均てん化	がんの診断・治療全体の総合評価
がん治療前にセカンドオピニオンに関する話を受けたがん患者の割合	↗		
質の向上		がん診療の質の向上・均てん化	がんの診断・治療全体の総合評価
国指定要件を満たす拠点病院等の数	↗		
担当した医師ががんについて十分な知識や経験を持っていたと思う患者の割合	↗		

6 手術療法、放射線療法、薬物療法及び免疫療法の推進

手術療法の推進		がん診療の質の向上・均てん化 再	がんの診断・治療全体の総合評価		
国・県指定病院における我が国に多いがんの鏡視下手術の割合				↗	
放射線療法の推進					
放射線治療専任加算の施設基準届出病院数		診断・医療の進歩 一般の人が受けられるがん医療は数年前と比べて進歩したと思う患者の割合	↗		
厚生労働省院内感染対策サーベイランス事業(JANIS)へ登録している国・県指定病院の割合					
IMRTを提供している国・県指定病院の割合					
専従の放射線治療に携わる専門的な知識及び技能を有する常勤の医師が1人以上配置されている国・県指定病院の割合					
常勤の診療放射線技師が2人以上配置されている国・県指定病院の割合					
専従の放射線治療に関する専門資格を有する常勤の看護師が放射線治療部門に1人以上配置されている国・県指定病院の割合		情報提供の充実 治療決定までに医療スタッフから治療に関する十分な情報を得られた患者の割合	↗		
薬物療法の推進					
がん薬物療法専門医が常勤する国・県指定拠点病院等数				↗	
専任のがん薬物療法に関する専門資格を有する常勤の薬剤師が1人以上配置されている国・県指定病院の割合					
薬物療法に携わる専門的な知識及び技能を有する常勤の医師が1人以上配置されている国・県指定病院の割合					
がん看護又はがん薬物療法に関する専門資格を有する常勤の看護師が外来化学療法室に1人以上配置されている国・県指定病院の割合					
免疫療法の推進					
免疫関連有害事象を含む有害事象に対して、他診療科や他病院と連携等して対応している国・県指定病院の割合		↗			
自施設で対応できるがんについて提供可能な診療内容を病院HP等でわかりやすく広報している国・県指定病院の割合					

7 がんゲノム医療体制の構築とプロジェクトHOPEの推進

がんゲノム医療体制の構築		がん診療の質の向上・均てん化	がんの診断・治療全体の総合評価
県内のがんゲノム医療中核拠点病院及びがんゲノム医療連携病院の数	↗		
がんゲノム医療中核拠点病院等における遺伝医学に関する専門的な知識及び技能を有する医師の数	↗	がん診療の質の向上・均てん化	がんの診断・治療全体の総合評価
がんゲノム医療中核拠点病院等における遺伝医学に関する専門的な遺伝カウンセリング技術を有する者の数	↗		

がん生存率の向上	
がん種別5年生存率	↗
希少がんの5年生存率	↗
難治性がん（代表例：膵がん）の5年生存率	↗
小児がん患者の5年生存率	↗
がんの死亡率の減少	
再 県内の年間がん死亡者数	↘
再 がんの年齢調整死亡率（75歳未満、全年齢）	↘
再 検診5がん年齢調整死亡率（75歳未満、全年齢）	↘
対県標準化死亡比の地域差の減少	
最大の地域と最小の地域の比較倍率	↘

がんゲノム医療中核拠点病院等における遺伝カウンセリング等を行う部門につないだりする者の数	↗
がんゲノム医療中核拠点病院等におけるがん薬物療法に専門的な知識及び技能を有する常勤の医師の数	↗
がんゲノム情報管理センターに登録された患者の数	↗
がん遺伝子パネル検査を実施した患者のうち、エキスパートパネルの結果治療薬の選択肢が提示された割合	↗
がん遺伝子パネル検査を実施した患者のうち、エキスパートパネルで推奨された薬剤が投与された割合	↗
ゲノム情報を活用したがん医療についてがん患者が知っていると感じている割合	↗

8 医療安全対策の推進

がん医療の安全管理	
第3者による医療安全評価を行う医療機関数	↗

9 多職種チーム医療の推進

多職種チーム医療の推進		がん診療の質の向上・均てん化	
緩和ケア診療加算の算定回数	↗	再	がんの診断・治療全体の総合評価
栄養サポートチーム加算の算定回数	↗		
県が地域における相談支援や緩和ケアの提供体制・連携体制について協議し、体制整備を行った回数	↗		
がん患者の口腔健康管理のため院内又は地域の歯科医師と連携して対応している国・県指定病院の割合	↗		
「栄養サポートチーム加算」を算定している国・県指定病院の割合	↗		
主治医以外にも相談しやすいスタッフがいた患者の割合	↗		
医療スタッフ間で情報が十分に共有されていると感じた患者の割合	↗		

10 がんに関するリハビリテーション・形成外科・補填医療の普及

リハビリテーション・形成外科・補填医療の普及		がん診療の質の向上・均てん化	
リハビリテーションに携わる専門的な知識及び技能を有する医師が配置されている国・県指定病院の割合	↗	再	がんの診断・治療全体の総合評価
がんのリハビリテーションに係る業務に携わる専門的な知識及び技能を有する療法士等を配置している国・県指定病院の割合	↗		

11 がん治療に伴う支持療法の推進

支持療法の推進		がん診療の質の向上・均てん化	
ストーマ外来及びリンパ浮腫外来を設置している国・県指定病院数	↗	再	がんの診断・治療全体の総合評価
リンパ浮腫研修の受講者数	↗		
リンパ浮腫外来が設置されている国・県指定病院の割合	↗	患者のQOL向上	
リンパ浮腫に対して専門的な治療を受けられた患者の数	↗	身体的な苦痛を抱えるがん患者の割合	↘
専任のがん薬物療法に関する専門資格を有する常勤の薬剤師が1人以上配置されている国・県指定病院の割合	↗	精神心理的な苦痛を抱えるがん患者の割合	↘
薬物療法に携わる専門的な知識及び技能を有する常勤の医師が1人以上配置されている国・県指定病院の割合	↗		
がん看護又はがん薬物療法に関する専門資格を有する常勤の看護師が外来化学療法室に1人以上配置されている国・県指定病院の割合	↗		
アピアランスケアの普及			

がん相談支援センターでのアピアランスケアの相談件数	↗
外見の変化に関する悩みを医療スタッフに相談ができたがん患者の割合	↗

12 希少がん、難治性がん治療のための連携の推進

希少がん対策		再	希少がん患者の高度かつ専門的な医療へのアクセシビリティの向上		
希少がん診療を積極的に受け入れている国・県指定病院の数と他施設へ紹介する国・県指定病院の数	↗		希少がんについて、担当した医師ががんについて十分な知識や経験を持っていたと思う患者の割合	↗	
希少がんに対する臨床試験を実施している国・県指定病院の数	↗		(難治性がんを含む) 全国的ながん診療の質の向上・均てん化		
治療スケジュールの見通しに関する情報を十分得ることができた希少がん患者の割合	↗				
難治性がん対策			がんの診断・治療全体の総合評価（がん種別で評価が困難なため全体の評価で代替）		↗
難治性がん診療を積極的に受け入れている国・県指定病院の数と他施設へ紹介する国・県指定病院の数	↗				

13 小児がん、A Y A 世代のがん医療の整備

小児がん対策		AYA世代のがん診療の質の向上・均てん化	
小児がん拠点病院及び小児がん連携病院の数	→	若者ががん患者の診断・治療全体の総合評価	↗
小児がん拠点病院等で小児がんの薬物療法に携わる専門的な知識及び技能を有する医師の数	↗	家族への支援・サービス・場所の充実	
小児がん拠点病院等で小児の手術に携わる、小児がん手術に関して専門的な知識及び技術を有する医師の数	↗	↗	家族の悩みや負担を相談出来る支援が十分であると感じているがん患者・家族の割合
小児がん拠点病院等で小児がんの放射線療法に携わる専門的な知識および技能を有する医師の数	↗		
小児がん拠点病院等における小児がん看護に関する専門的な知識や技能を習得している看護師の数	↗		
小児がん拠点病院等における医療環境にある子どもや家族への療養支援に関する専門的な知識及び技能を有する者の数	↗		
長期フォローアップ外来を設置している小児がん拠点病院等の数	↗		
小児がん拠点病院等のがん相談支援センターにおける、小児・AYA世代のがん患者の発育及び療養上の相談への対応・支援のうち、教育に関する相談件数	↗		
国立がん研究センターによる「がん相談支援センター相談員基礎研修」(1)(2)を受講後、国立成育医療研究センターが実施する「小児がん相談員専門研修」を修了し、小児がん拠点病院等に配置されている者の数	↗		
長期フォローアップ外来を開設している小児がん拠点病院等の数	↗		
小児がん拠点病院等のがん相談支援センターにおける、小児・AYA世代のがん患者に対する就労に関する相談件数	↗		
小児がん拠点病院が連携している、小児がんに関する患者団体の数	↗		
がん・生殖医療の意思決定支援に関する人材育成を実施している国・県指定病院の数	↗		
小児がん拠点病院において実施されている小児がんに関する治験数	↗		
A Y A 世代のがん対策			
多職種からなるAYA支援チームを設置している国・県指定病院の数	↗		
がん・生殖医療の意思決定支援に関する人材育成を実施している国・県指定病院の数	↗		
治療開始前に、生殖機能への影響に関する説明を受けたがん患者・家族の割合	↗		

がんと診断されてから病気や療養生活について相談できたと感じる若年がん患者の割合	↗
外見の変化に関する悩みを医療スタッフに相談ができた若年患者の割合	↗

14 高齢者のがん医療の推進

高齢者のがん対策		がん診療の質の向上・均てん化	
当該がん医療圏において、地域の医療機関や在宅療養支援診療所等の医療・介護従事者とがんに関する医療提供体制や社会的支援、緩和ケアについて情報を共有し、役割分担や支援等について検討を行っている国・県指定病院の数	↗	再	がんの診断・治療全体の総合評価
意思決定能力を含む機能評価を行い、各種ガイドラインに沿って、個別の状況を踏まえた対応をしている国・県指定病院の数	↗		
介護支援等連携指導料の算定数（がん患者に限定）	↗		
退院時共同指導料1の算定数（がん患者に限定）	↗		

15 病理診断の均てん化

病理診断提供体制の推進		がん診療の質の向上・均てん化	
病理診断に携わる専門的な知識及び技能を有する医師が1人以上配置されている国・県指定病院の数	↗	再	がんの診断・治療全体の総合評価
細胞診断に関する専門資格を有する者が1人以上配置されている国・県指定病院の数	↗		
初診時から確定診断までが1か月未満の人の割合	↗		

16 がん登録の活用

がん登録の精度管理		がん登録の活用	
がん登録における全部位がんのDCI割合	↘	利用件数（総数・年あたり）	↗
がん登録における全部位がんのDCO割合	↘		
がん登録における全部位がんのMI比	-		

17 臨床試験(治験)の充実

臨床試験の環境整備		がん診療の質の向上・均てん化	
臨床試験に参加していない地域の患者さんやご家族向けの問い合わせ窓口を設置している国・県指定病院の数	↗	再	がんの診断・治療全体の総合評価
がんに関する臨床研究数	↗		
		診断・医療の進歩	
		再	一般の人が受けられるがん医療は数年前と比べて進歩したと思う患者の割合
		情報提供の充実	
		再	治療決定までに医療スタッフから治療に関する十分な情報を得られた患者の割合

施策の方向性・アウトプット

中間アウトカム

分野アウトカム

18 緩和ケアの充実

緩和ケアの提供体制	
拠点病院等の緩和ケアチーム新規診療症例数	↗
特定疾患治療管理料 がん患者指導管理料Ⅰの算定数	↗
緩和ケア外来の新規診療患者数	↗
神経ブロックの実施数: L101-神経ブロック	↗
緩和的放射線照射の実施数	↗
緩和ケア診療加算の算定回数	↗
診療情報提供料（Ⅱ）の算定数	↗
特定疾患治療管理料 がん患者指導管理料Ⅰ算定数	↗
特定疾患治療管理料 がん患者指導管理料Ⅱ算定数	↗
医療者はつらい症状にすみやかに対応していたと感じる割合	↗
身体的なつらさがある時に、すぐに医療スタッフに相談できると思う患者の割合	↗
心のつらさがあるときに、すぐに医療スタッフに相談できると感じている患者の割合	↗
がんと診断されてから病気や療養生活について相談できたと感じるがん患者の割合	↗
家族の悩みや負担を相談できる支援が十分であると感じているがん患者・家族の割合	↗
医療従事者が耳を傾けてくれたと感じた患者の割合	↗
在宅緩和ケアの推進	
緩和ケア外来への地域の医療機関からの年間新規紹介患者数	↗
拠点病院等 1 施設あたりの地域連携推進のための多施設合同会議の開催数	↗
地域緩和ケア連携調整員研修受講者数	↗
緩和ケア研修の推進	
国・県指定病院等に勤務する医師のうち緩和ケア研修会を修了した者の割合	↗
診療所の医師のうち緩和ケア研修会を修了した者の累計人数	↗
緩和ケア研修修了者数	↗

患者のQOL向上	
再 身体的な苦痛を抱えるがん患者の割合	↘
再 精神心理的な苦痛を抱えるがん患者の割合	↘

全てのがん患者及びその家族の苦痛の軽減並びに療養生活の質の維持向上	
現在自分らしい日常生活を送れていると感じるがん患者の割合	↗
現在自分らしい日常生活を送れていると感じる希少がん患者の割合	↗
現在自分らしい日常生活を送れていると感じる若年がん患者の割合	↗

19 相談支援の充実

相談支援の強化	
がん診療連携拠点病院等の相談支援センター（県内23施設）での年間総相談件数	↗
がん相談支援センターでの自施設・他施設からの新規相談件数	↗
相談員研修を受講したがん相談支援センターの相談員の数	↗
上記の内、フォローアップ研修を受講したがん相談支援センターの相談員の数	↗
自殺リスクに関する研修を実施した拠点病院等の割合	↗
情報取得や意思疎通に配慮が必要な者に対するマニュアルを作成している拠点病院等の割合	↗
がん相談支援センターについて知っているがん患者の割合	↗

がん患者が、相談を利用し、役だったと思えること	
がん相談支援センターを利用したことのある人が役に立ったがん患者の割合	↗
ピアサポートを利用したことがある人が役に立ったがん患者の割合	↗
がん患者の家族が、悩みや負担を相談できること	
再 家族の悩みや負担を相談できる支援が十分であると感じているがん患者・家族の割合	↗

再	がんと診断してから病気や療養生活について相談できたと感じるがん患者の割合	↗
	ピアサポーターについて知っているがん患者の割合	↗
	外見の変化に関する悩みを医療スタッフに相談ができたがん患者の割合	↗
	心のつらさがあるときに、すぐに医療スタッフに相談できたと感じている患者の割合	↗
	身体的なつらさがある時に、すぐに医療スタッフに相談ができと思う患者の割合	↗
	がんと診断されてから周囲に不必要な気を遣われている割合	↘
	(家族以外の) 周囲の人からがんに対する偏見を感じる割合	↘

20 医療連携の充実

切れ目のないがん医療		望んだ場所で過ごせたがん患者の割合の増加	
専門医療機関連携薬局（傷病の区分：がん）の認定数	↗	在宅で亡くなったがん患者の割合	↗
がん治療前に、セカンドオピニオンに関する話を受けたがん患者の割合	↗		
介護との連携			
当該がん医療圏において、地域の医療機関や在宅療養支援診療所等の医療・介護従事者とがんに関する医療提供体制や社会的支援、緩和ケアについて情報を共有し、役割分担や支援等について検討を行っている拠点病院等の割合	↗		
介護支援等連携指導料の算定数（がん患者に限定）	↗		

21 県民に対するきめ細かな情報提供

正しいがん情報		がん患者が、治療に関する十分な情報を得ることができること	
国・県指定病院で実施した、地域を対象とした、がんに関するセミナー等の開催回数（総数）	↗	治療決定までに医療スタッフから治療に関する十分な情報を得られた患者の割合	↗
県民への情報提供			
県HPのPV数（がん関係）	↗		

22 在宅医療の充実

在宅医療の充実		望んだ場所で過ごせたがん患者の割合の増加	
当該がん医療圏において、地域の医療機関や在宅療養支援診療所等の医療・介護従事者とがんに関する医療提供体制や社会的支援、緩和ケアについて情報を共有し、役割分担や支援等について検討を行っている国・県指定病院の数	↗	在宅で亡くなったがん患者の割合	↗

23 就労のための支援

医療機関における就労支援		経済・就労関連PROの向上	
がん患者の就労支援に関する研修受講者数	↗	治療費用の負担が原因で、がんの治療を変更・断念したがん患者の割合	↘
就労相談を実施する国・県指定病院の数	↗	金銭的負担が原因で生活に影響があったがん患者の割合	↘
治療開始前に、就労継続について説明を受けたがん患者の割合	↗		
拠点病院等のがん相談支援センターにおける就労に関する相談件数	↗	両立支援・就労支援に関する相談・支援体制へのアクセスの向上	
療養・就労両立支援指導料の算定数（がんについて）	↗	がんと診断されてから病気や療養生活について相談できたと感じるがん患者の割合	↗
国・県指定病院等における就労の専門家による相談会の回数	↗	家族の悩みや負担を相談できる支援が十分であると感じているがん患者・家族の割合	↗
ハローワークと連携した就職支援をおこなっている国・県指定病院等の数	↗		
職域や地域における就労支援			

長期療養者就職支援事業におけるがん患者失職率	↘
がんと診断後も仕事を継続していたがん患者の割合	↗
退職したがん患者のうち、がん治療の開始前までに退職した者の割合	↘
治療と仕事を両立するための社内制度等を利用した患者の割合	↗
治療と仕事を両立するための勤務上の配慮がなされているがん患者の割合	↗

24 患者団体等との連携・協働及び支援

ピア・サポートの普及		指標なし	
国・県指定病院等 1 施設当たりの連携している患者団体の数	↗		
国・県指定病院等 1 施設当たりの体験を語り合う場の開催数	↗		

施策の方向性・アウトプット

中間アウトカム

分野アウトカム（なし）

25 ファルマバレープロジェクトを中心とする研究・開発の推進

研究・開発の推進		指標なし	
がんに関する臨床研究数	↑		

26 静岡がん会議

指標なし		指標なし	
------	--	------	--

27 人材の育成

研修の充実		指標なし	
がんゲノム医療コーディネーター研修会参加人数	↑		
専門人材の育成			
緩和ケアに特化した講座を設置している大学の数	↑		

28 がん教育の推進

がん教育の推進		がんを正しく理解し向き合う	
外部講師を活用してがん教育を実施した学校の割合	↑	「がんは誰もがかかる可能性のある病気である。」に対して「正しい」と回答した割合	↑
		「がん検診を受けられる年齢になったら、検診を受けようと思う。」に対して「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した割合	↑

29 デジタル化の推進

質の向上		国で検討中	
患者とその家族が利用可能なインターネット環境を整備している国・県指定病院の数	↑		
セカンドオピニオンを提示する場合は、必要に応じてオンラインでの相談を受け付けることができる体制を確保している国・県指定病院の数	↑		
情報提供			
集学的治療等の内容や治療前後の生活における注意点等に関する、冊子や視聴覚教材等がオンラインでも確認できる国・県指定病院の数	↑		